

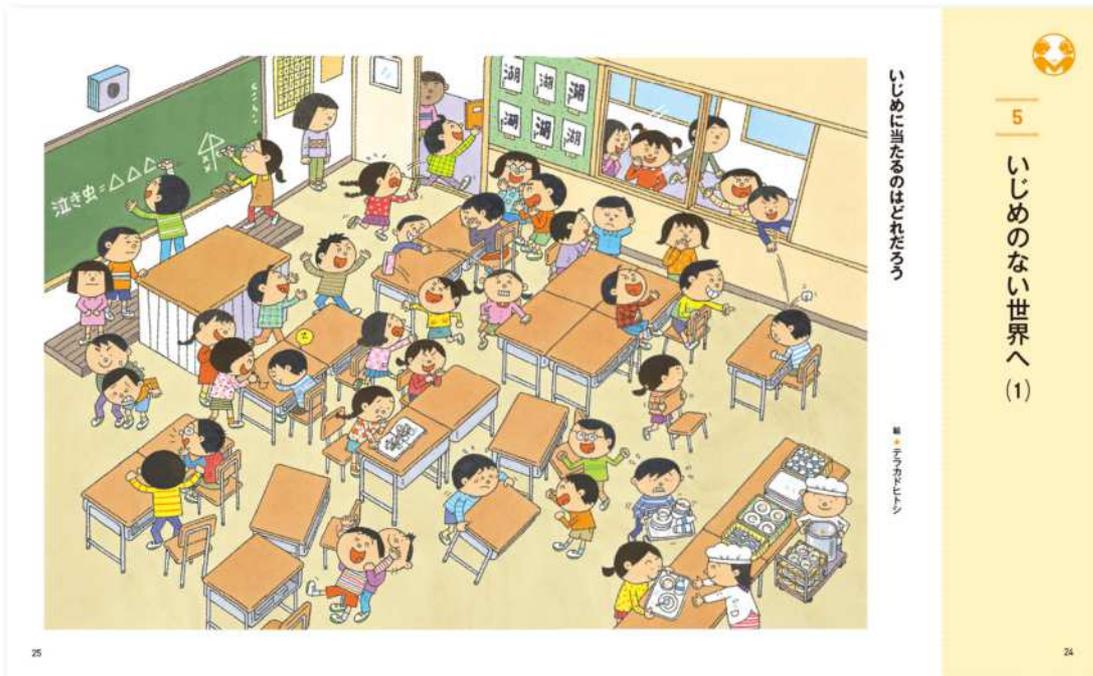
心のノート

それくらい その考えが 連鎖する

第 18 回いじめ防止標語コンテストより 抜粋

No. 2 2021 年（令和 3 年）4 月 28 日（水）

4 月 21 日（水）の道徳は、『いじめにあたるのはどれだろう』という教材をもとに学習しました。このようなイラストの中にどのくらいいじめにあてはまる（と思う）ものがあるかを探していきました。



【生徒の学んだこと、印象に残ったこと、考えたこと、感想より】

*今日の道徳の授業を通じて、これからは相手の立場になって考えようと思いました。いじめは、相手が「いやだな」と思ったら「いじめ」、遊びの中では「相手」も自分も楽しい気持ちでいることが成立していないと「いじめ」になってしまう。一番悪いのは、いじめる側だけど、本当は「傍観者」も悪いのではないかと思いました。

*いじめはしてはいけないし、傍観者も良くない。ただ、思い込みは良くないし、嘘も良くない、自分もしているのにやっていないや言われてないことまでいうのも良くない。

*僕は、今日の道徳の時間でいじめについて話し合いました。授業で分かった事は、顔では笑っていても、心の中ではどう思っているかわからないので、気をつけなければいけない事です。また、いじめをする人も悪いけど、見て笑う人や見て見ぬふりをする人も悪い事もわかりました。いじめは、絶対にダメだと思いました。もちろん、自分がいじめる側になってもいけないし、見て見ぬふりをする人にもなりたくないです。

*自分がされていやなことは他人にしない。もし、いじめている人を見つけたら「それはいじめだよ。いじめをしているほうは楽しいかも知れないけど、じめを受けているほうはとても苦しい思いをしているからやめたほうがいいよ。」と声をかける。

*今日道徳では「何がいじめ」で「何がいじめでないか」の違いについて考えました。私は、相手だけが楽しんで自分は楽しくないってことはいじめだと思います。「いじめではない」は相手も自分も両方楽しむことだと思います。相手を困らせないように気をつけようと思います。

*私は今日道徳で「いじめは絶対にしてはいけない」ということを改めて学びました。わたしは別の班の意見の「傍観者もいじめに値する」という意見に考えさせられました。傍観者でいる人は、いじめている人に口出ししたら今度は自分がいじめられるなどの恐怖を感じているのだと思います。自分のことばかり考えていたら、他の人を守れないので私はいじめられている人を守れるようになりたいです。

*私はいじめはやっている人も悪いけどそれを見て笑っていたり、見て見ぬふりをするのもいじめと同じものだと思います。いじめはやっている人だけが楽しくて、遊びはお互いがみんなが楽しむものだからまったくの別物だと思いました。学校でいじめがおこらないといいなと思います。